

# 見どころ案内

## タカクマヒキオコシ (シソ科)

日本にしか生育していないオリジナルの植物で、関東以西の太平洋沿岸地域と四国、九州に分布。漢字では「高隈引起」と表記。鹿児島県の高隈山地で発見されたことから「高隈」、弘法大師が腰痛で倒れている人に絞り汁を飲ませたところ、すぐに回復した、という話から、倒れている人を引き起こすほどの薬効があることから名付けられました。

## シクラメン ヘデリフォリウム

(サクラソウ科)

南ヨーロッパ～小アジア西部の広域に原産。晩夏～秋、葉の展開に先立って開花します。名前の由来になったらせん状に巻いた花茎もご覧いただけます。

## ポポー (バンレイシ科)

大きな葉の間にふっくらした俵型の緑色の果実がぶら下がっています。北アメリカ原産の果樹で、とつてもクリーミーな果実です。各地の産直で売られている姿を見かけます。

## ヨルガオ (ヒルガオ科)

夜に香り高く咲く草花ですが、秋涼のこの時季、昼間でも咲いている場合があります。ぜひ探してみてください。

## ハギ園 (マメ科)

只今ハギ園全体が花盛り！今秋は植栽変更して、ハギのみではなくキキョウ、フジバカマ、オミナエシなど秋の七草を一同にご覧いただけます。

## 薬用植物展

薬用植物約100点を展示し、利用部位ごとに、その効能を紹介します。有毒植物も併せて紹介しておりますので、お取扱のご参考に。

〔展示温室にて 9月29日(木)まで〕

## 大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

## アセロラ (キントラノオ科)

ビタミンCを豊富に含む果実として、ドリンクや飴など、すっかり馴染みの熱帯果樹のひとつではないでしょうか。果実に見合わない小さな花と大きな果実を併せてご覧いただけます。

## オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国雲南省原産の落葉高木。枝先の円錐花序に無数の小花を咲かせています。下からでは気付きにくい位置に植栽していますが、展望塔の2～3階から間近にご覧いただけます。

## エンゼルストランペット

(ナス科)

和名はキダチチョウセンアサガオ。熱帯アメリカ原産ですが、盛夏期はお休み気味。。。秋涼のこの時期、いよいよ咲き始めました。

